

事務局案に対するご意見

1 ワーキンググループのグループ分けについて

賛成 17人 反対 0人

- 作業を進めるにはWGが必要。ただ理由があれば、他のWGへの臨時の参加も認めた方がよい。逆に必要に応じ、他のWGの委員を招請することも場合によって可とするべき。
- 細かいテーマ分けに賛成する。
- WGはどのように開催されるのか、イメージがわきにくいので説明いただきたい。
- 短期間に議論し、案をまとめるためにはグループ分けをして、まとめていくことに賛成。必要に応じて、又は各ワーキンググループの議論の後に、関係者会議を開く等により、必ず各委員に他のグループの状況を報告すべき。

2 今後のスケジュール案について

賛成 16人 反対 1人

- 民間団体は1次予防の中にも出てくる。【相談支援・社会復帰・民間団体】については、9月にずれ込む可能性も含んでいた方がよいと思う。または8月を3時間に。
- 2～3次予防の関係者会議は8月で【健診・医療】の関係者会議でWGが出した案に再考を求められた場合、9月の調整枠でしか話し合いができない。4月にWGが立ち上がるので、6月の関係者会議は時間を超過しても一度WG(B)の提示案を出して、それに対する各省庁、委員のご意見をきくべき。また、8月に1次と1～2次の再考も必要。時間配分は差別化が必要。